

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	26	52	1	0

施策の方向 1 男女平等教育の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 1 学校教育における男女平等教育の推進				
小・中学生向け男女平等教育副読本	小中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上。 小学校 100% 中学校 50%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引」を作成し配布。 小学校:「はらっぱ」, 同「指導の手引」 ・小学校3,4年生対象(3年時に配付) ・部数:15,000<15,000> ・活用率93.8%<95.1%> 中学校:「わたしらしく生きる」, 同「指導の手引」 ・中学校全学年対象(1年時に配付) ・部数:14,000<14,000> ・活用率33.8%<32.8%> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 1,801千円 <1,851千円>	B	市) 男女共同参画課 教) 学校指導課
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。 平成25年度から27年度の3年間で全69校でセミナーを実施する。	大学・企業・地域・市が連携し、中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校15校 <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野・研究分野の説明・体験等 24年度予算額 23年度予算額 300千円 -	A	市) 男女共同参画課
男女平等の理念に立った教育課程の編成	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	B	教) 学校指導課
職場体験学習	職場体験学習の実施率中学校100%の継続 生徒のニーズにあった受け入れ事業所の充実。	参加学校数及び生徒数:69校 11,913名 <69校 11,777名> 受け入れ事業所:3,616事業所 <3,336事業所> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 516千円 <473千円>	A	教) 学校指導課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
家庭科教育の充実	男女が共に家族の一員として役割を果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。	<p>【小学校5・6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し工夫することを学ばせた。 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を工夫することを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。 	B	教) 学校指導課
		<p>予 算 額</p> <p>24年度予算額 23年度予算額</p> <p>- -</p>		
育児の体験学習等		<p>家庭科の授業において、園児とともに遊ぶためのおもちゃや絵本などを製作したり、幼児への接し方を考えるロールプレイングやビデオで幼児の行動を観察したりする授業改善に取り組んでいる学校が増えている。また、実際に幼稚園や保育園を訪問し、園児とのふれあいを通じて、生徒に「育児」の体験をさせる学校もある。</p>	B	教) 学校指導課
		<p>予 算 額</p> <p>24年度予算額 23年度予算額</p> <p>- -</p>		
学校生活全体にわたっての見直し	男女混合名簿の採用率 小学校100% 中学校50%	<p>学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 <p>・男女混合名簿（出席簿等）の採用率 小学校：98.6%（99.3%） 中学校：44.9%（40.6%）</p> <p>・男女平等教育副読本活用率 小学校：93.8%（95.1%） 中学校：33.8%（32.8%）</p>	C	教) 学校指導課
		<p>予 算 額</p> <p>24年度予算額 23年度予算額</p> <p>- -</p>		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策2 教育に携わる者への研修の充実								
男女平等教育研修会の実施	教職員の男女平等教育研修会の参加率 100%	<p>〈講演〉「男女共同参画社会と学校教育」 講師：中央大学法学部教授 広岡 守穂</p> <p>〈実践発表〉副読本「はらっぱ」の活用について 発表者：福岡市立青葉小学校 教諭：植村 幸一 参加者：225人(96.6%)〈235人〉</p>	A	教) 学校指導課 市) 男女共同参画課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>100千円</td> <td>〈150千円〉</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	100千円	〈150千円〉		
24年度予算額	23年度予算額							
100千円	〈150千円〉							
公民館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	<p>公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施。</p> <p>ア 新任公民館職員研修実績 1回45人〈1回40人〉</p> <p>イ 公民館運営研修実績 東区、博多区、中央区で各1回、計128人 〈東区、博多区、南区でそれぞれ1回、城南区で2回、計160人〉</p>	B	市) 公民館調整課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>67千円</td> <td>〈70千円〉</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	67千円	〈70千円〉		
24年度予算額	23年度予算額							
67千円	〈70千円〉							
保育所職員への研修	年に1～2回男女共同参画の研修を位置づける。	<p>研修実施。</p> <p>対象：保育所保育士(主任・中堅) 内容：男女共同参画を幼児期から考えるために「幼児期からの人権教育について」 講師：福岡県人権擁護委員連絡会事務局長 北村 紀代子 参加者：22人</p> <p>〈23年度 対象：保育士(中堅) 参加者：13人〉</p>	B	こ) 保育所指導課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	-	-		
24年度予算額	23年度予算額							
-	-							
教頭2年次研修	研修受講満足度を、平成27年度までに、90%とする。	<p>テーマ：「男女共同参画社会の実現と教頭の役割 ～学校における男女平等教育の進め方～」</p> <p>講師： 市民局男女共同参画課 課長 中願寺 均 参加者数：2年次教頭 43人〈38人〉 研修評価：受講者満足度 97%</p>	A	教委) 教育センター研修課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	-	-		
24年度予算額	23年度予算額							
-	-							
社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員を対象に人権教育研修会を実施することで、男女共同参画社会実現のための地域等での人権教育・啓発活動に活かす。	<p>テーマ：「人権教育・啓発について」 講師：人権・同和教育課長他 参加者数：45人〈53人〉</p>	B	教) 生涯学習課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>72千円</td> <td>〈72千円〉</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	72千円	〈72千円〉		
24年度予算額	23年度予算額							
72千円	〈72千円〉							

施策の方向 2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策3 男女共同参画推進センターにおける取組の推進				
男女共同参画講座・講演会の実施	主催するすべての講座において、定員を超える応募者数を得る。	① 男女の自立や男女共同参画を促進するための講座 21講座72回 参加者2,399人 <21講座57回 参加者3,333人> 事前申込みが必要な18講座中、応募者数が定員を満たしたものは9講座<18講座中 9講座>	B	市) 事業推進課
		② 女性のチャレンジ支援のための講座等 12講座124回 参加者1,964人 <15講座149回 参加者2,241人> 主催した12講座中、応募者数が定員を満たしたものは6講座<13講座中 2講座>	B	市) 事業推進課
	参加者数300人を超える。	③ 健康管理の支援のための講演会等 1講座2回 参加者239人<2講座2回 参加者227人>	B	市) 事業推進課
		①～③合計 34講座 198回 4,602人(女性3,920人,男性682人) <38講座208回5,801人(女性4,824人,男性977人)> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 14,710千円 <14,813千円>		
市民グループ活動支援事業	講座・講演会等支援事業 30企画 調査研究1企画 国際交流ネットワーク支援事業2企画 発表・展示企画支援事業10企画	講座・講演会等支援事業 31企画<34企画> 調査研究支援事業 1企画<0企画> 国際交流ネットワーク支援事業 0企画<0企画> 発表・展示企画支援事業 13企画<12企画> 合計 45企画<46企画> 事業報告会参加者数 73人<74人> 報告書 1種類 700部発行<1種類 700部発行>	B	市) 事業推進課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 3,008千円 <3,908千円>		
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		【平成24年度】 あなたの人生サポート講座 全6回 講師:原田直子(弁護士) 参加者数:211人 【平成23年度】 女性の労働/経済講座 「マネープランを考える!～私の貯蓄スタイル～」 講師:小川香絵(福岡銀行営業推進部) 参加者数 41人	A	市) 事業推進課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -		
		☆アミカス講座		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		男女共同参画講座 「アミカス△共感ゼミ」全2回 講師:的野佑妃子(NPO法人あまらんすねっと代表理事)ほか 参加者数:延べ76人(全2回)<延べ171人(全4回)> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	B	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		男女共同参画週間 映画「あたしが踊る！」上映会 参加者数:184人 共同主催:アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	A	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		はじめての男女共同参画講座 ～寸劇とパネルと講演の3ステップでスイスイわかる～ ・寸劇出演:福岡市男女共同参画推進サポーター ・講演「男女共同参画ってなに？」講師:アミカス館長 ・奥むめおパネル展 参加者数:165人 共同主催:福岡市七区男女共同参画協議会 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	A	市) 事業推進課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座		アミカス土曜シネマ全7回(全4回) 上映作品:「ウィニング・パス」ほか 参加者数:延べ347人<454人> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	B	市) 事業推進課
具体的施策 4 拠点施設としての支援の充実				
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上に する。	市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:49件<43件> (内訳) プログラム作成 1件<0件> 講師紹介 40件<43件> 講師謝礼金負担 8件<5件> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数50回	○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 25回<28回> ・講座の受講者数 延べ671人<787人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全4日間 参加者数 延べ35人 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額	B	市) 事業推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>具体的施策 5 区役所、人権啓発センター、婦人会館、市民センターにおける取組の推進</p>								
<p>東区男女共同参画連絡協議会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:240人 講演:「とかくこの世は男と女」 講師:滝 悦子 氏(エッセイスト) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:379人 テーマ「違いを認め合い、個性と能力を生かせる社会の創造を目指して」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④リーダー研修会(地域リーダー育成事業 共催:東区) 参加者:65名 「女性の地位向上のためのリーダーとは」(講義) 講師:寺坂 カタエ 氏 (西日本初の中学校女性校長、北九州市制50周年記念事業実行委員) ⑤筑紫少女苑盆踊り大会(激励のため盆踊り大会に参加) ⑥日本女性会議2012仙台(4名参加) ⑦区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="587 1115 1187 1176"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>810千円</td> <td>(810千円)</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	810千円	(810千円)	<p>B</p>	<p>東) 企画振興課</p>
24年度予算額	23年度予算額							
810千円	(810千円)							
<p>博多区男女共同参画代表者会活動支援</p>	<p>地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。</p>	<p>①発足会(6月4日) ②役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ③男女共同参画講演会(参加者56名) テーマ:男女共同参画の視点を持った地域づくり 講 師:中嶋玲子氏 ④日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加及び被災地視察 ⑤博多区男女共同参画代表者会と「第3ブロック」自治協との意見交換会(参加者69名) ⑥視察研修(参加者数:49名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 八女市の男女共同参画推進団体との意見交換会等 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(20名) 「まつりはかた」へ参画(44名)</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="587 2056 1187 2130"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>952千円</td> <td>(850千円)</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	952千円	(850千円)	<p>B</p>	<p>博) 地域振興課</p>
24年度予算額	23年度予算額							
952千円	(850千円)							

基本目標1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②NWEC研修への派遣及び報告 『女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修』へ警固校区男女共同参画推進委員会会長を派遣し、その報告を区男女共同参画連絡会で3回、福浜校区など4校区で行った。</p> <p>③男女共同参画地域活動用リーフレットを活用した研修 ・4校区で実施 講師:校区リーフレット委員や加留部貴行氏(九大大学院客員准教授) ・参加者151名</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 地域振興・支援課</p>
		<p>24年度予算額 23年度予算額 182千円 <400千円></p>		
<p>中央区女性地域アクティブメイト事業</p>	<p>学習・活動の場・交流の場を提供し、女性の社会参画を促進する。</p>	<p>各校区男女共同参画協議会会長が推薦する地域コミュニティの中で若手・中堅として活躍が期待される女性を「中央区女性地域アクティブメイト」に任命し、下記の活動を行った。</p> <p>アクティブメイト14名</p> <p>(1)学習・研究活動 行政や地域、男女共同参画などにおいて市民生活に係わる様々な問題の中から、自分たちで研究テーマを設定し、学習・研究活動を行い、また、その活動を通して、会議の運営やプレゼンテーション力などの技術を習得した。 23・24年度テーマ:地域における安全・安心(防犯・防災・介護) <21・22年度テーマ:コミュニケーション(食育・マナー・ネット社会)></p> <p>(2)報告活動 研究成果や活動結果を報告書にまとめ、区長への報告会を開催。 <区長への報告と各校区の男女共同参画協議会等へ活動の報告></p> <p>(3)交流活動及び情報提供 前年度活動したアクティブメイトと現アクティブメイトの交流活動及び情報提供を行った。</p>	<p>A</p>	<p>中) 地域振興・支援課</p>
		<p>予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 317千円 <277千円></p>		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成24年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年2回実施((9月、1月) 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:27名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:113名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催 1)男女共同参画啓発ビデオ上映「スタートライン」 2)講演 「男女共同参画社会へ向けてのこれからの地域のとりくみ」 講師:富永 暉子氏(前福岡県男女共同参画審議会会長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の発行 【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南)企画振興課</p>
		<p>予 算 額</p> <p>24年度予算額 23年度予算額 734千円 (691千円)</p>		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(8回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(市民センター2階ロビー)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2012仙台」への参加 ・「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 ～体験型ワークショップ(つぶやきワークショップ)～ 参加者が身の回りの男女差の問題についてつぶやくことから、共感→気づきへと展開し、男女共同参画の視点で考え行動することを学んだ。 参加者自身の考える力と行動力を引き起こす参加型研修として実施した。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:46名】 ・講師:オフィスビュア 男女共同参画政策アドバイザー 高崎 恵氏</p> <p>②男女共同参画講演会 講師(男性)の主夫体験に基づく講演から男女共同参画を推進する上での課題を学んだ。 また、仙台で学んできた校区委員が継続的な被災地支援の必要性、防災活動に女性も参画する必要性を報告した。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I 部 「日本女性会議2012仙台」参加報告及び東日本大震災被災地視察報告 II 部 講演「『主婦』と『主夫』かなで書けば同じ『しゅふ』」 講師:主夫 日高邦博氏</p> <p>③「日本女性会議2012仙台」への派遣 2名</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="582 1489 1209 1579"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>991千円</td> <td>(855千円)</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	991千円	(855千円)	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>
24年度予算額	23年度予算額							
991千円	(855千円)							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 68名(68名) 「～絆を繋ぐ～」 吉住 明海氏(「慈明院」名誉住職) ②有田公民館 55名(55名) 「あなたらしく、私らしく～身近な男女共同参画の話」 池田 良子氏(いきいき子どもネットワーク) ③飯倉公民館 66名(45名) 「「主婦」と「主夫」かなで書けば同じ「しゅふ」」 日高 邦博氏 ④西新公民館 76名(70名) 「男だ女だ言う前に、やってみようよ共同参画！」 高橋 績氏(福岡市職員) 2. 日本女性会議2012仙台への参加(委員1名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2012参加 2名(3名) 講演会「自らをヨむ。自らをカタる。」講師 角田 光代氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2012 7名 基調講演「女性はもっと活躍できる」等 ③講演「自分らしく生き生きと～男女共同参画ってなあに？」22名 緒方 豊子氏(早良区男女共同参画協議会会長) ④講演「昨日・今日・明日 女と男～男女共同参画社会の実現を～」 49名 柳 淑子氏 5. 地域リーダー育成研修会 61名 「一人ひとりが“いきいき”と輝くために～福岡市における男女共同参画社会づくり」井上 るみ氏(早良区長) 6. 「早良区男女共同参画講演会」開催 386名 「HUGのとき…誰かを、そして自分を抱きしめよう」 落合 恵子氏(作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授)</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 1048 1182 1115"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>720千円</td> <td><720千円></td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	720千円	<720千円>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課 ※24年度は、地域振興課</p>
24年度予算額	23年度予算額							
720千円	<720千円>							
<p>西区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標：平成27年度までに25%とする。</p>	<p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画をすすめる会 30周年のつどい 約300名 一部：西区男女共同参画表彰(平成24年度創設)表彰式 二部：ちひろコンサート ～金子みすゞのこころにふれて～ 出演者：ちひろ(歌手) 2. 日本女性会議2012仙台参加 委員：4名 3. 委員交流・意見交換会の実施(4回実施) ・7月：テーマ「男女共同参画社会の実現を目指す ～新しい時代に向かっの自分づくり～」 講師：小串 保子氏(福岡市男女共同参画サポーター) 参加者：34名(委員・アドバイザー) ・9月：テーマ「ますます楽しくなる男女共同参画」 講師：十時 裕氏(福岡市地域活動アドバイザー) 参加者：32名(委員・アドバイザー) ・1月：テーマ「校区男女協の自治協との関わり・位置づけ」 参加者：33名(委員・アドバイザー) ・3月：テーマ「Let'sジェンダー的に振り返ってみよう！ これまでの自分・これからの自分」 講師：山岸 玲子氏(九州大学女性キャリア開発センター副センター長) 参加者：30名(委員・アドバイザー) ※地域リーダー育成事業として開催 4. 日帰りバス研修実施 筑前町男女共同参画地域づくり実行委員会との交流会 等 5. 広報紙「なぎさ」43・44号(各号6400部)発行、世帯回覧 6. 漫画で見る男女共同参画「助け合い 共に輝く未来へ」増刷 増刷部数：520部 7. 校区諸団体への女性委員就任状況再調査</p> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 1989 1182 2060"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,333千円</td> <td><1,030千円></td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	1,333千円	<1,030千円>	<p>B</p>	<p>西) 振興課 ※24年度は、企画振興課</p>
24年度予算額	23年度予算額							
1,333千円	<1,030千円>							

基本目標1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
男女共同参画社会づくり講座	市民センターにおける男女共同参画講座・講演会の実施。	男女共同参画社会づくり講座「違いを認め合い、個性と能力を生かせる社会の創造を目指して」 ①「みんなで参画！男女共同参画！」 市民局男女共同参画部長 中村 郁子 ②「言葉と男女共同参画」 元宮崎放送アナウンサー 鍾 しずこ ③「このままの姿で」 ゴスペルシンガー 本田 路津子 受講者数 全3回:379名	A	東) 生涯学習推進課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 45千円 (45千円)		
婦人会館における講座・講演会の開催	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進する。	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進した。 ・主催事業6講座 (7講座) ・共催事業5グループ・団体と6講座 (5グループ・団体と7講座)	A	教) 婦人会館
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 1,045千円 (1,098千円)		
具体的施策6 公民館における取組の推進				
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業(男女共同参画講座)実施館数の増加。 60館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。 公民館数 43館 (48館) 回数 167回 (211回) 参加人数 5,003人 (5,898人)	B	市) 公民館調整課
		予 算 額(全主催事業分) 24年度予算額 23年度予算額 55,667千円 (58,491千円)		
具体的施策7 男女共同参画に関する調査・研究				
男女共同参画データブックの作成	テーマ別に分類し、より活用しやすいものにする。	2012年度版男女共同参画データブック「男女共同参画 Year Book Fukuoka 2012」を作成。地域での男女共同参画に関する研修等で活用することを目的に、12のテーマに沿って、男女共同参画の実態や課題を図表を示して説明した。 作成部数:1,000冊(22年度1,000冊)	A	市) 事業推進課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -		
市民意識調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	男女共同参画に係る施策を展開するうえで基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ※前回調査は平成20年に実施。 次回は平成25年実施予定。	-	市) 男女共同参画課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -		
女性の雇用状況やワーク・ライフ・バランス等に関する調査分析	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	企業における男女共同参画に関する取組状況を把握し、男女共同参画に係る施策を展開するうえでの基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ※前回調査は平成21年に実施。 次回は平成26年に実施予定。	-	市) 男女共同参画課
		予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供						
「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を改定発行した。また市職員を対象とした研修を開催し、手引きの内容説明及び、参加者が実際に作成した印刷物に対する具体的なアドバイスをを行った。 研修参加者 計29名<研修参加者 計56名> また全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	B	市長) 広報課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
24年度予算額	23年度予算額					
-	-					
ユニバーサル都市・福岡の推進	ユニバーサル都市・福岡の考え方に対する職員の理解・浸透・行動。 年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなく、みんながやさしい、みんなにやさしいまちの実現。	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(H24:1回) ・関係局の課長で構成する幹事会の開催(H24:1回) ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施(平成24年9月29日～平成24年10月14日) ・第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡の実施(平成24年10月12日～10月14日) 	B	総) 企画調整部		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,650千円</td> <td><13,500千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
24年度予算額	23年度予算額					
26,650千円	<13,500千円>					
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作)(平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
24年度予算額	23年度予算額					
-	-					
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 広報実績 計8回掲載<計12回> ・ワーク・ライフ・バランスセミナー受講企業募集(7/15号) ・市男女共同参画審議会委員募集(8/1号) ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」の周知(11/1号) その他(市後援事業など) 5件	A	市) 男女共同参画課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
24年度予算額	23年度予算額					
-	-					
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	情報BOXのページにアミカス欄を設け、事業実施前の適切な時期に記事を掲載。掲載件数:85件<105件> 南区医師会との共同主催の講座 南区版に掲載:1件<2件> 職業訓練協会との共同主催の講座 お仕事欄に掲載:4件<0件>	A	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
24年度予算額	23年度予算額					
-	-					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。 福岡市トップページ→生活情報→人権・男女共同参画 24年度の主な掲載内容 ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画審議会公募委員の募集、決定 ・男女協サミットの開催 ・男女共同参画推進協議会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集、基準改定 ・女性の活躍促進講演会の開催 等 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	市) 男女共同参画課
インターネットによる広報(アミカスHP)	アクセス件数を250,000件以上にする。 メルマガ登録数を1,500件以上にする。	○ホームページによる広報 ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク アクセス件数 222,881件<211,304件> ○メールマガジンの配信 メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。 登録数1080件<登録数974件> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	市) 事業推進課
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。 実施回数 13件<24件> 参加者数 344人<624人> 受講者の満足度 94.0%<84.8%> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	B	市) 男女共同参画課
人材情報の提供	人材・グループ登録者数を500件以上にする。	女性問題の視点から様々な情報を収集し提供した。 ・人材・グループ情報の登録及びインターネット等による情報を提供。 登録数: 人材286件, グループ146件 <人材306件, グループ146件> 提供件数: 人材21件<23件>, グループ1件<5件>, その他9件<18件> WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。 ○広報紙「アミカス」の発行 発行回数: 年4回<同左> 発行部数: 9,000部/回<同左> 配布先: 全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター 等 ○情報紙「アミカスカワラ版」の発行 発行回数: 毎月1回 発行部数: 3,000部/回<同左> ○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数: 毎月1回 発行部数: 1,000部/回<同左> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	市) 事業推進課

基本目標1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・父と子の料理教室[8/4NHKニュース] 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
アマカス図書室による情報の提供	蔵書数 44,000冊 貸出数 57,000冊 利用者数 46,000人	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数: 44,065冊<43,902冊> 貸出数: 53,849冊<56,441冊> 利用者数: 42,699人<41,476人> レファレンス受付件数: 1件<3件> 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数 50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 25回(28回) ・講座の受講者数 延べ671人(787人) ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全4日間 参加者数 延べ35人	B	市) 事業推進課
ココロンセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部(4,000部) ・女性のDVや性暴力、働く女性の悩み等の電話相談窓口、セクシャルハラスメントに関するDVDの紹介等を行った。 ・配布先: 公民館、市民センターなど、市の公共施設 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 430千円 (460千円)	B	市) 人権啓発センター
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性問題をテーマとしたものを4本制作・16回放送した。 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 13,612千円 (13,650千円)	B	市) 人権啓発センター
「まなびアイふくおか」による広報	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏のさまざまな機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報及び情報誌「まなびアイふくおか」のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1 ホームページアクセス数: 1,177,522件(1,125,961件) 2 情報誌 ・発行回数: 年4回(同左) ・発行部数: 1,375部(同左) ・配布先: 市民センター、区役所、情報プラザ、総合図書館等 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	教) 生涯学習課

施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働				
市民グループ活動支援事業	講座・講演会等支援事業30企画 調査研究1企画 国際交流ネットワーク支援事業2企画 発表・展示企画支援事業10企画	(具体的施策3再掲) 講座・講演会等支援事業 31企画<34企画> 調査研究支援事業 1企画<0企画> 国際交流ネットワーク支援事業 0企画<0企画> 発表・展示企画支援事業 13企画<12企画> 合計 45企画<46企画> 事業報告会参加者数 73人<74人> 報告書 1種類 700部発行<1種類 700部発行>	B	市) 事業推進課
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上にする。	(具体的施策4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:49件<43件> (内訳) プログラム作成 1件<0件> 講師紹介 40件<43件> 講師謝礼金負担 8件<5件>	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 25回<28回> ・講座の受講者数 延べ671人<787人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全4日間 参加者数 延べ35人	B	市) 事業推進課
登録団体との共働事業	「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。	平成23年度は、実行委員会(女性・男女共同参画の分野で活動している団体及び登録団体で構成)を11回実施し、「ひとりじゃないよ!~"Let's live and let live."~人と心と社会をつなぐ」をテーマとした4回にわたる連続講座を実施。その中で「これからの日本~男と女が自立し、支えあう共生社会~」というテーマでの講演なども実施した。 平成24年度は、男女共同参画の分野で活動している団体等が共働事業として参加・計画をし、はじめての試みとして人権フィールドワークを開催。一般市民の方を公募し、子どもの人権・障がい者の人権・部落差別に学ぶ事を目的に各施設などで現地学習を行った。 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 54千円 <428千円>	B	市) 人権啓発センター
人権啓発センター登録団体交流会	参加団体数の増加	全参加団体28団体中、女性・男女共同参画の分野に関する団体は5団体。他の人権分野の団体も含め、交流を図った。 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 28千円 <37千円>	B	市) 人権啓発センター
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付) 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 483,185千円 <483,964千円>	A	市) コミュニティ推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時)</p> <p>②東区のとつどい(講演会等)の開催 参加者:240人 講演:「とかくこの世は男と女」 講師:滝 悦子 氏(エッセイスト)</p> <p>③男女共同参画社会づくり講座 参加者:379人 テーマ「違いを認め合い、個性と能力を生かせる社会の創造を目指して」 (3回シリーズ 共催:東市民センター)</p> <p>④リーダー研修会(地域リーダー育成事業 共催:東区) 参加者:65名 「女性の地位向上のためのリーダーとは」(講義) 講師:寺坂 カタエ 氏 (西日本初の中学校女性校長、北九州市制50周年記念事業実行委員)</p> <p>⑤筑紫少女苑盆踊り大会(激励のため盆踊り大会に参加)</p> <p>⑥日本女性会議2012仙台(4名参加)</p> <p>⑦区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加)</p> <p>⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名</p>	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	<p>地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>①発足会(6月4日)</p> <p>②役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等</p> <p>③男女共同参画講演会(参加者56名) テーマ:男女共同参画の視点を持った地域づくり 講師:中嶋玲子氏</p> <p>④日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加及び被災地視察</p> <p>⑤博多区男女共同参画代表者会と「第3ブロック」自治協との意見交換会(参加者69名)</p> <p>⑥視察研修(参加者数:49名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 八女市の男女共同参画推進団体との意見交換会等</p> <p>⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。</p> <p>⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(20名) 「まつりはかた」へ参画(44名)</p>	B	博) 地域振興課
中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②NWECC研修への派遣及び報告 『女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修』へ警固校区男女共同参画推進委員会会長を派遣し、その報告を区男女共同参画連絡会で3回、福浜校区など4校区で行った。</p> <p>③男女共同参画地域活動用リーフレットを活用した研修 ・4校区で実施 講師:校区リーフレット委員や加留部貴行氏 (九大大学院客員准教授) ・参加者151名</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	B	中) 地域振興・支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成24年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年2回実施((9月、1月) 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:27名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:113名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催 1)男女共同参画啓発ビデオ上映「スタートライン」 2)講演 「男女共同参画社会へ向けてのこれからの地域のとりくみ」 講師:富永 暉子氏(前福岡県男女共同参画審議会会長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の発行 【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	<p>B</p>	<p>南)企画振興課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(8回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(市民センター2階ロビー)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2012仙台」への参加 ・「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 ～体験型ワークショップ(つぶやきワークショップ)～ 参加者が身の回りの男女差の問題についてつぶやくことから、共感一気つきへと展開し、男女共同参画の視点で考え行動することを学んだ。 参加者自身の考える力と行動力を引き起こす参加型研修として実施した。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:46名】 ・講師:オフィスヒュー 男女共同参画政策アドバイザー 高崎 恵氏</p> <p>②男女共同参画講演会 講師(男性)の主夫体験に基づく講演から男女共同参画を推進する上での課題を学んだ。 また、仙台で学んできた校区委員が継続的な被災地支援の必要性、防災活動に女性も参画する必要性を報告した。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2012仙台」参加報告及び東日本震災被災地視察報告 II部 講演「『主婦』と『主夫』かなで書けば同じ『しゅふ』」 講師:主夫 日高邦博氏</p> <p>③「日本女性会議2012仙台」への派遣 2名</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。</p> <p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 68名(68名) 「～絆を繋ぐ～」 吉住 明海氏(「慈明院」名誉住職) ②有田公民館 55名(55名) 「あなたらしく、私らしく～身近な男女共同参画の話」 池田 良子氏(いきいき子どもネットワーク) ③飯倉公民館 66名(45名) 「「主婦」と「主夫」かなで書けば同じ「しゅふ」」 日高 邦博氏 ④西新公民館 76名(70名) 「男だ女だ言う前に、やってみようよ共同参画！」 高橋 績氏(福岡市職員)</p> <p>2. 日本女性会議2012仙台への参加(委員1名参加)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2012参加 2名(3名) 講演会「自らをヨむ。自らをカタる。」講師 角田 光代氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2012 7名 基調講演「女性はもっと活躍できる」等 ③講演「自分らしく生き生きと～男女共同参画ってなあに？」 22名 緒方 豊子氏(早良区男女共同参画協議会会長) ④講演「昨日・今日・明日 女と男～男女共同参画社会の実現を～」 49名 柳 淑子氏</p> <p>5. 地域リーダー育成研修会 61名 「一人ひとりが「いきいき」と輝くために～福岡市における男女共同参画社会づくり」 井上 るみ氏(早良区長)</p> <p>6. 「早良区男女共同参画講演会」開催 386名 「HUGのとき…誰かを、そして自分を抱きしめよう」 落合 恵子氏(作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授)</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p> <p>※24年度は、地域振興課</p>
<p>西区男女共同参画協議会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標：平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画をすすめる会 30周年のつどい 約300名 一部:西区男女共同参画表彰(平成24年度創設)表彰式 二部:ちひろコンサート ～金子みすゞのこころにふれて～ 出演者:ちひろ(歌手)</p> <p>2. 日本女性会議2012仙台参加 委員:4名</p> <p>3. 委員交流・意見交換会の実施(4回実施) ・7月:テーマ「男女共同参画社会の実現を目指す～新しい時代に向かっの自分づくり～」 講師:小串 保子氏(福岡市男女共同参画サポーター) 参加者:34名(委員・アドバイザー) ・9月:テーマ「ますます楽しくなる男女共同参画」 講師:十時 裕氏(福岡市地域活動アドバイザー) 参加者:32名(委員・アドバイザー) ・1月:テーマ「校区男女協の自治協との関わり・位置づけ」 参加者:33名(委員・アドバイザー) ・3月:テーマ「Let'sジェンダー的に振り返ってみよう!これまでの自分・これからの自分」 講師:山岸 玲子氏(九州大学女性キャリア開発センター副センター長) 参加者:30名(委員・アドバイザー) ※地域リーダー育成事業として開催</p> <p>4. 日帰りバス研修実施 筑前町男女共同参画地域づくり実行委員会との交流会 等</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」43・44号(各号6400部)発行、世帯回覧</p> <p>6. 漫画で見る男女共同参画「助け合い 共に輝く未来へ」増刷 増刷部数:520部</p> <p>7. 校区諸団体への女性委員就任状況再調査</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p> <p>※24年度は、企画振興課</p>

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
婦人会館フェスタ	婦人会館を利用する団体・グループの相互の連携と協調をはかり、日頃の活動成果を広く市民に発信するとともに交流を図る。	主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進する。 参加グループ数 26グループ（23年度は未実施） 入場者数 4,298人（23年度は未実施） ※平成22年度より隔年開催。 予 算 額（予算額は婦人会館における講座・講演会の全体予算） 24年度予算額 23年度予算額 289千円 -	A	教） 婦人会館
具体的施策 10 大学との連携				
女子学生就職支援事業		【24年度】 ○新「就活対策」 学生に「就活」ではなく、どう働き、どう生きていきたいかにつながる「就業」について考えてもらうセミナーを実施 ゲスト：祖父江玲奈（日産自動車（株）） 勝野晃（（株）八百治企画室） 参加者数：48人 共同主催：福岡女子大学体験学習科目「リーダーシップとキャリア」 【23年度】 就職活動が厳しい女子学生を対象とした就職支援事業（イベント）の準備講座として、企画や運営の基礎となるコミュニケーションの体験型ワークショップを実施 参加者数 19人 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	市） 事業推進課
☆アミカス講座				
女子学生のチャレンジ支援事業		○アミカスインターンシップ2012 インターンシップ生（女子学生）9人がイベント「ホンネの女子会」を企画、運営するためのサポートを実施 ・事前学習プログラム（全12回） ・企画運営会議（全11回） ・プレイベント「ホンネの女子会ミニ」開催 ・イベント「ホンネの女子会」開催 パネリスト：権藤光枝、新谷圭子、田中彩、中村郁子 参加者数：77人 予 算 額 24年度予算額 23年度予算額 - -	A	市） 事業推進課
☆アミカス講座				
具体的施策 11 報道機関との連携				
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	（具体的施策 8再掲） 「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA（市職員向け）に掲載し、周知している。 A4版（全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作） （平成19年改訂） 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市） 男女共同参画課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	（具体的施策 8再掲） テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・父と子の料理教室[8/4NHKニュース]	B	市） 事業推進課
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上（マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発）	（具体的施策 8再掲） 様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性問題をテーマとしたものを4本制作・16回放送した。	B	市） 人権啓発センター

施策の方向 4 国際理解・交流の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 12 男女平等に関する国際理解の推進				
海外の女性情報の収集及び提供	蔵書数55種類 リンク数を20にする	○英文資料を収集・提供 蔵書数：52種類(52種類) ○アミカスHPから7の海外のサイトにリンクしている。(9)	B	市) 事業推進課
		予 算 額		
		24年度予算額 23年度予算額		
		- -		
日韓女性親善協会活動支援		日本と韓国の女性の交流促進の一環として日韓女性親善協会の活動を支援した。 ・日韓女性親善協会福岡支部総会に合わせた相互交流 ・日韓児童絵画交流展 (日韓両国の児童の絵画21点を市役所ロビーに展示 ※「福岡アジアマンス2012」登録事業、 「ユニバーサル都市・福岡フェスティバル」関連事業)	A	市) 男女共同参画課
		予 算 額		
		24年度予算額 23年度予算額		
		15千円 (15千円)		
具体的施策 13 在住外国人女性への支援				
区役所業務に係る在住外国人窓口案内・相談事業	外国人が利用しやすい相談窓口とする。	東区市民相談室に通訳を配置し、区役所業務に係る案内・相談や市政に係る相談を受け付けた。 相談件数 117件(142件) ・英語 月曜日 ・中国語 木曜日 13:00～16:00	A	総)国際課
		予 算 額		
		24年度予算額 23年度予算額		
		794千円 (810千円)		
在住外国人の生活環境整備事業(在住外国人のための日本語学習支援)	市主催・民間含め日本語ボランティア教室の延べ数の維持・拡大	市内5か所の市民センターにおいて市民ボランティアとの共働により日本語教室を実施した。 また、他のボランティア日本語教室についても、一覧としたパンフレット「にほんごClass Map」を更新し、区役所窓口などで配布し在住外国人への周知に努めた。 H24.9月時点の延べ教室数 60教室(市主催・民間含む) (H23.9月時点の延べ教室数 58教室)	B	総)国際課
		予 算 額		
		24年度予算額 23年度予算額		
		2,804千円 (2,804千円)		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
外国語版広報印刷物の発行	現状のサービスを維持する。	<p>○外国語情報紙の発行 ((公財)福岡国際交流協会 レインボープラザ編集・発行) ・英語版 隔月刊 5,500部 ・中国語版・韓国語版 隔月刊 各2,500部</p> <p>○リビング・イン・フクオカ(外国人のための生活便利帳) 区役所窓口で無料配付</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,450千円</td> <td>〈15,343千円〉</td> </tr> </table> <p>※予算額は国際部「リビング・イン・フクオカ」予算と福岡国際交流協会「一般相談・情報提供」の合計額 (公益財団移行に伴い予算を組み替えたため、23年度予算額変更)</p>	24年度予算額	23年度予算額	26,450千円	〈15,343千円〉		
24年度予算額	23年度予算額							
26,450千円	〈15,343千円〉							
国際交流協会事業(レインボープラザにおける相談・情報提供)	現状のサービスを維持する。	<p>○(公財)福岡国際交流協会 レインボープラザでの多言語相談・情報提供(英語・中国語・韓国語) ・法律相談 月2回 ・入国・在留・国籍相談 月1回 ・カウンセリング 週3回 ・健康相談 週1回 ・全体の相談件数8,035件(10,437件) ※外国人に対する相談のみ</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,732千円</td> <td>〈15,625千円〉</td> </tr> </table> <p>※予算額は福岡国際交流協会の「一般相談・情報提供」と「外国人専門相談」の合計額 (公益財団移行に伴い予算を組み替えたため、23年度予算額変更)</p>	24年度予算額	23年度予算額	26,732千円	〈15,625千円〉		
24年度予算額	23年度予算額							
26,732千円	〈15,625千円〉							
アミカス日本語クラス (市民グループ活動支援事業)		<p>アミカス日本語クラスとの共催により講座を実施。 主に国際結婚、夫の仕事などで、福岡に来た外国人女性のための日本語クラスを実施。</p> <p>全40回 参加人数・延べ724人(19カ国)〈延べ924人(19カ国)〉</p>	A	市) 事業推進課 (実施主体：アミカス日本語クラス)				
外国人母子保健サービス事業	在住外国人の母子に対するサービスの向上	<p>外国語版母子健康手帳の交付 交付数50冊(50冊)</p> <p>※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	-	-		
24年度予算額	23年度予算額							
-	-							
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	在住外国人に対するサービスの向上	<p>保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際に、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>24年度予算額</td> <td>23年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	24年度予算額	23年度予算額	-	-		
24年度予算額	23年度予算額							
-	-							